

## 市立病院経営再建プロジェクトチーム 第8回会議 議事録

- 【日時】 令和8年1月21日（水）15:00～15:45
- 【場所】 市立総合医療センター大会議室
- 【出席者】 尾形病院事業管理者（チーム長）、伊藤副市長、秋庭総務部長、伊東総合政策部長、伊原財務部長、青砥健康医療部長、岡部総合医療センター病院長、山内病院事業管理局長、羽田病院政策課参事補
- 【議事】

### 議事1. 松戸市立総合医療センターの経営状況について

#### 【確認した事項】

医業収益は前年同月比9,300万円増、入院収益は7,200万円増、1日平均入院患者数は23人増の492人、稼働率は86.6%を記録した。単価は1,054円増の87,702円、外来患者数は前年同月比2,100万円増と堅調な改善を維持している。年間見込みでは決算見込みにおいて11.2億円の増を見込み、医業損益では人事院勧告を含まずに約7.5億円の増となる見通しである。

#### 【質疑応答・意見交換等】

特になし

### 議事2. 総合医療センター収支シミュレーションについて

#### 【確認した事項】

劇的な改善は期待できないものの、現状のリスクを取ることなく現在の医療体制を維持しながら徐々に改善していく方針である。重要なのは分析よりも実行段階に移ることであり、再建策の実行支援が含まれているため、進捗状況の監視が必要である。材料費や経費削減については記載されている内容を実行しなければ達成できないため、毎月の進捗報告を行うことが必要である。

#### 【質疑応答・意見交換等】

特になし

### 議事3. 作業部会からの報告について

#### (1) 財政支援・人件費関係作業部会

##### 【確認した事項】

人事院勧告に関することについて、非公開とする。

#### (2) 地域医療・広域連携作業部会

12月26日に松戸市長から高梨副知事に要望書を手交し、県からは国の緊急総合パッケージについて説明があった。各市との協議状況では、総合医療センターの現状に理解を示していただいた一方で、経営支援については慎重な姿勢を取られる市が多数である。地域医療機関からは総合医療センターへの期待や応援の声が聞かれ、広報活動の重要性を再認識した。

### 議事4. 外部専門人材（外部コンサルタント）より報告

##### 【確認したこと】

コンサルタントからの報告は非公開とする。

### 議事5. その他（今後の予定・公表事項の確認等）

市長から1月17日のタウンミーティングで市民から病院への感謝の言葉があったことや、マクドナルドハウスのような施設の検討についてアイデアベースの発言があったことが情報提供された。

人件費、外部コンサルの報告内容に関しては非公開とする。

次回開催予定：令和8年2月初旬

終了